北海道身体障害者新聞

発行人
（社団）北海道身体障害者
福祉協会会長　赤坂　勝
札幌市中央区北2条西7丁目（かでる2･7）
電　話　011-251-1551
ＦＡＸ　011-251-0858
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電　話　011-251-9302
毎　月　25日発行
会員購読料（年）　90円（会費に含む）
非会員　同　2,000円

第六十回全道身体障害者福祉大会千歳大会開催

『大会スローガン』

一、必要な支援と情報保障を被災障害者へ

一、地域ネットワークの構築を復興の第一歩に

～北海道身体障害者福祉協会・千歳身体障害者福祉協会主催、千歳市・千歳市社会福祉協議会共催の「第六十回全道身体障害者福祉大会千歳大会」が九月二十三日（金）、道内各地から六百名を超える人たちが「千歳市民文化センター」に集い、大会実行委員会及び地元身障協会の大会準備や地元市民ボランティア約百五十名の協力に支えられ好天にも恵まれ成功に終り、素晴らしい大会でした。～

【大会概要】

●開会

政田一美副大会長（北身協副会長）による開会のことばで全道大会が開会した。

国家斉唱・黙祷のあと、赤坂勝大会長（北身協会長）から主催者として挨拶があり、「まず、東日本大震災の被災者にお見舞いを申し上げます。大会開催に協力・支援を頂いた市当局・福祉関係諸団体・ボランティアの皆様、そして千歳身体障害者福祉協会の皆様には大変ご尽力いただきました。」と、また、「本日表彰される皆様は、永年地域社会での福祉活動やご自身がその障害を克服され、懸命にご努力されたことが評価され、ここからお祝いと感謝を申し上げ、これからも健康に留意されてそれぞれの地域での、より一層のご活躍を期待申しあげます。」とさらに、「昨年末、改正障害者自立支援法が成立し本年七月に改正障害者基本法が参議院を通過、八月に公布・施行となりました。今回の改正案では、特に、障害の定義を広げ地域で生活することを基本にした内容になっており、特に我々が二十一世紀は共生の時代と位置づけてきたことが、今までの課題が改善されたことは確かで現実味を帯びてきました。六十回に及ぶ大会を通じ協会では地方の皆様と一貫して障害の有無に係らず人格を認め合う共生社会の実現に取り組む運動は不変であり、障害者雇用促進法についても今後は過去にない取り組みで障害者の雇用に取り組んでまいる所存です。今日まで障害者福祉の組織が運動展開を重ねた結果、劇的に変化しましたが、まだ道半ばで真の共生社会とは言い難い状況下の中、地方財政の疲弊、地方協会においても財政が厳しく組織維持に苦労されているとはおもいますが、協会に加入しているメリットはあるのか、加入する必要はあるのかという協会が散見され、大変残念に思います。私どもは、一障害者の福祉はもちろん、北海道全体の障害者福祉の向上のため役職員一丸となって運動展開致しますので、何卒、地方協会の皆様方には旧に倍してのご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と結び挨拶した。続いて、名誉大会長の地元千歳市長、山口幸太郎（やまぐちこうたろう）から「第六十回大会が千歳で開催されますことを、市民を代表して歓迎し、本大会が、より一層、障害福祉の増進と自立による社会参加の活性化につながると期待し、当市も「あったかみのあるまち　ちとせ」の実現を目指して参ります。また、本大会が、全ての人が安心して生活可能な地域社会の実現に寄与し、実り多い大会となることを願うと共に、関係者の皆様に感謝申し上げ、皆様のご健勝を祈ります。」と結び挨拶がありました。

赤坂　勝大会長

正面横断幕

表彰された皆様

●式典及び表彰

表彰は、北海道善行賞（知事表彰）の自立更生者六名、自立更生援護者五名、北海道身体障害者福祉協会会長表彰の自立更生者二十一名、援護功労者二十名に、それぞれ表彰状と記念品がおくられました。続いて、北海道知事（代理北海道保健福祉部地域福祉担当局長内海敏江（うちうみとしえ））、北海道議会議長（代理副議長三津丈夫（みつたけお））、千歳市議会議長本宮輝久（もとみやてるひさ）から祝辞があり来賓紹介、祝電披露のあと受賞者を代表して中野タエ（千歳身体障害者福祉協会）さんから「日頃の自立更生活動や援護活動がみとめられ、また、皆様から心温まるお言葉を頂き受賞者を代表して身に余る光栄であり感謝致します。これからも障害者の自立更生と援護活動に微力でありますが、尽して参ります。」と謝辞が述べられました。

受賞者を代表して謝辞

●アトラクション

その後千歳市立富丘中学校、吹奏楽部による演奏曲・三曲（＊勇気百％、＊ありがとう、＊風になりたい）が披露され、手話を交えたその素晴らしい演奏に、会場の皆さんは感動し、万雷の拍手でした。

手話を交えて演奏

●講演

車いすダンサー三上昌代さんによる「新たな人生介助犬ジルバと共に」と題して講演がありました。三上さんは、北海道生まれで、二十歳の時、両下肢麻痺となり、車いすの生活となったが幼少時代からのダンスを生かし、長野パラリンピックに参加しましたが、その後、四肢麻痺・言語障害となるも一人創作ダンスなど障害者スポーツに挑戦、障害の有無に関係なく、夢に向かって努力することの大切さと失敗の経験が成功の道となることなど講演し、介助犬ジルバと一緒にダンスを披露、会場は感激の拍手の嵐でした。

以上無事午前の部が終了しました。

三上昌代さんと介助犬ジルバ

●全体会議

午後から議長団の瀧山征治（北身協副会長）、政田一美（同）の進行により全体会議が開催され、泉司（北身協常務理事）から「第五十九回帯広大会要望事項処理」の報告が行われ了承された。続いて事前に提出があった第六十回千歳大会提出議案を審議、議長から「今後、大会推進委員会でさらに協議し、要望としてまとめたい」と発言があり、全体会議が終了した。

●大会宣言

篠山准子運営委員から大会宣言（案）が読み上げられ、提案どおり採決された。

（大会宣言は裏面に掲載）

●決議

続いて清藤勲運営委員から決議（案）が読み上げられ、提案通り採決された。

（決議は裏面に掲載）

「ご協力を！」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

社団法人日本義肢協会会員

株式会社　札幌義肢製作所
代表取締役　関　喬
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表（○一一）二四一－○九八六番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長　舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話（○一六六）二四－五二三一番

有限会社　野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話（○一一）二二一－一四○六番

有限会社　河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話（○一三四）二二－三○四二番
（○一三四）三二－七○○二番

株式会社　馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の一七　☎（○一三八）二二－二六一五番
札幌市北区太平七条二丁目　☎（○一一）七七四－三○二二番
室蘭市母恋北町一の三の六　☎（○一四三）二二－五五二九番
釧路市富士見一の五の九　☎（○一五四）四一－三五四六番

株式会社　田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話（○一一）㈹二○○－二七七七番
帯広支店　帯広市大通南十五丁目二十番地
電話（○一五五）二七－二四八九番

有限会社　三愛義肢製作所
代表取締役　柏崎カネ
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話（○一二六）㈹二三－六六四三番

株式会社　協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
電話（○一二六）二二－三七三九番
FAX（○一二六）二四－七六一八番

有限会社　美唄義肢製作所
代表取締役　松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話（○一二六）六二－○九三一番

有限会社　千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二号
電話（○一五四）二三－○三八一番
FAX（○一五四）二五－九五八八番

●**次期開催地あいさつ**

議長団退任後、次期開催地の釧路市長（代理釧路市福祉部障害福祉課長古川幸男）から「北海道身体障害者福祉協会におかれては日頃の活躍に敬意を表するとともに、『第六十一回全道大会』が釧路市で開催に嬉しく思い、しっかり準備し心から歓迎しお待ちします。二ケ所の国立公園は勿論、魚介類も大変おいしい時期ですので来年御会いしましょう。」と挨拶されました。

●**障害者一一〇番法律相談**

大会当日は会場四階、会議室②に十時三十分から十四時まで「障害者一一〇番地方相談会」が開設され札幌弁護士会所属の橋本佐和子（はしもとさわこ）弁護士による相談が行われた。

議　長　団

【第六十回全道身体障害者福祉大会千歳大会宣言】

北の大地と本州を結ぶ交通の拠点、千歳空港と上質な水の源、千歳川水系、支笏洞爺国立公園と国防の基地であるここ千歳市に於いて、第六十回全道身体障害者福祉大会を、多くの方々の協力のもと、心を一つにして開催できたことは大きな喜びです。三月十一日の東日本震災による甚大な被害により、数多くの被災障害者が今も、避難所や自宅、仮設住宅で不安を抱えるなか、避難生活を余儀なくされています。北身協は、被災障害者が、生活支援、移動や同行支援、情報保障等といった面で弾力的かつ適切な措置が講じられることを求めるものです。さらに、被害を被っている被災地の障害団体が、一日も早く復興し、地域の障害者の日常生活や社会参加促進のための万全な活動が行えるよう、財政的支援を含めた公的な支援が講じられるよう強く要望します。

また一方で、障がい者制度改革推進会議での「第一次意見」（閣議決定版）ならびに「第二次意見」、そして総合福祉部会や差別禁止部会での検討を踏まえ、その意見が最大限尊重された「障害者基本法の改正」、「障害者総合福祉法」（仮称）、そして、「障害を理由とする差別の禁止法」が批准されるべきであります。北海道身体障害者福祉協会は、障害者当事者団体としての務めとして、私たち障害者が障害を理由に不利益をうけないよう、国をはじめ関係機関に強く訴えていきます。そして、障害のある人もない人もともに支え合い、同じ社会の一員として社会貢献に努めるなかで、障害者一人ひとりの尊厳が尊重され、安心した地域生活を実現するために、全国の加盟団体並びに会員との強い連携のもと、一致団結し行動することを誓い、ここに宣言します。

【同大会決議】

一、災害時における障害要援護者名簿の確保を期せ
一、被災障害者の障害の特性に即した適切な支援と救済を図れ
一、被災地の身障団体再建のため強力な支援を図れ
一、障害者権利条約批准による国内法制度の整備を促進せよ

地域からのお便り

「平成二十三年度十勝管内町村分会生活訓練研修会」開催

十勝地区身体障害福祉協会が主催で毎年、実施される生活訓練研修会が九月八日・九日の二日間、音更町十勝川温泉ホテル、観月苑で実施されました。開会挨拶で、大橋会長は「楽しく学んでこそ新たな発想や力が生まれ、それが大きな糧になる。と会員・町村分会の更なる飛躍を願いました。

本年度は、十勝管内十五町村より五十五名の参加者が集い、被災地ボランティア活動に参加した、池田町社会福祉協議会、畠中勇氏を招き、東日本大震災の被災地の状況を学びました。

このほかに、帯広グルッペ手話の会による基礎的な手話の習得、十勝総合振興局社会福祉課による北海道障害者条例と障害者虐待防止法の講演、健康・生きがいづくりアドバイザー窪田稔氏による笑顔が健康に繋がるメカニズムについても学習し、会員は、年に一度の研修会とあって、各町村の交流も深めながら楽しく真剣に講義を聴いていました。

アドバイザーの窪田　稔氏

講演する畠中　勇氏

【第二十五回北海道身体障害者ゲートボール大会を終えて】

網走地区身体障害者福祉協会滝上分会の清水美智江さんの投稿をご紹介致します。

＊「第二十五回北海道身体障害者ゲートボール大会」がわが町滝上町で、平成二十三年八月二十七日に行われました。連日の猛暑の中、スポーツ公園多目的グランドの昨年完成した芝コートでの競技の開催です。地方から来られた選手の方々がコートを褒めて下さる言葉を、遠く聞き乍ら、此の日の為に準備をした当町のゲートボールの会員の人達、又、来賓の人々が身障者に御理解が有ればこそと感謝しました。私はゲートボールの練習には日が浅いのですが、初めての芝コートなるもの見るのも、打つのも珍しい場所で、一生懸命打ちました。八十三歳の今年の大会に「選手宣誓」の機会を頂き、先づ感謝の言葉。そしてどうにか責任を果たす事が出来ました。この大会も今後は、札幌にてとの事、来年も皆様の御元気な姿にお逢いする事が出来ます様に祈っております。入賞チームの「猿払ほのぼの」「千歳はまなす」「歌登ひまわり」皆様おめでとうございます。御参加下さいました方々に御礼申し上げます。

文芸

短歌

室蘭市　池内満里子

草笛の遠き昔を呼ぶように
　爽竹桃はさらさらと散る
桑の実をもらいてしばし初恋の
　あの時の味　胸の高鳴り
来ぬ人を待つがごとくに苧環（おだまき）
　はじけて淋し春惜しみつつ
蝉時雨（せみしぐれ）まだまだ生きると限りある
　命の声に敗戦日くる
少年の果てしない夢そっと乗せ
　入道雲は見る見る拡がる
繕いの一鉢ごとに邪念消え
　我が一生長く短い

伊達市　古川　次子

がらくたと思えども捨てられず
　部屋隅に鉄砲火鉢まだ置かれあり
しだれたるすすきの先に赤トンボ
　ゆうらりゆらり昼間の川原
身障者の福祉大会千歳での
　会終えバスは今宵の宿へ
渓流荘一夜の宿に木村氏の
　「アメイジンググレース」胸せまり聴く

俳句

室蘭市　池内満里子

終（つい）の地や夜霧が街を抱きしめる
不知火（しらぬい）は燃え尽きながら海霧（じり）の果て
悼（くや）み文嫉妬少しの晩夏かな
さりげなく野いちご呉れし人涼し
ゆきあいの空を彩る虹の影
桑の実に舌染めながら友を恋う

恵庭市　西島　明

背なさするだけの見舞いやななかまど
谺（こだま）する水輪ひき連れ鮭飛び跳ねる
満々と紅葉たたへてダムのブイ

川柳

北広島市　本多　司

敬老日子や孫電話途切れない
ボランティア喜び感謝わかち合い
ない袖に頼る増税年金減
出来てからやらせ原発大騒ぎ
ハム失速首位争いに喝入れる

江別市　戸原　寿夫

雲の峰映す川水顔洗ふ
一滴でしずく分合ふ新茶かな
雨を呼ぶ雨もてあます雨蛙
門前に軽トラ来て西瓜売る
復興の願ひは一つ雲の峰
律儀な風を繰り出し扇風機
夕顔や女人高野の峠口
それとなく次の音待つ遠花火
ひとりなる部屋の涼しさ藍のれん
寝転べば畳這い来る涼しさよ

文芸に投稿される方へのお願い

一、判読が難しい漢字には必ずルビを付してください。

【宛先】
〒〇六〇―〇〇〇二
札幌市中央区北二条西七丁目
道民活動センター四階
北海道身体障害者福祉協会　宛

-安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-
岩崎電子　補聴器センター
本店　札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前　札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F
新札幌店　札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店　札幌市手稲区前田1条12丁目
旭川店　旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店　函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店　苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店　室蘭市中島町3丁目25-1 TMビル
お問い合わせフリーダイヤル 0120-231-282
本社営業部　岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は
社会福祉法人　北海道リハビリー
障害者支援施設　リハビリー・エイト
身体障害者授産施設　リハビリー・クリーナース
障害福祉サービス事業所　リハビリー・おおぞら
障害者支援施設　札幌ワークセンター
地域活動支援センター　ポプルス
障害福祉サービス事業所　セルプさっぽろ（ウェルプラザやまはな）
施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人事務所　北広島市西の里507番地1
TEL（011）375-2111（代）　FAX（011）375-4051

身体障害者用・自動車運転装置／販売・取付
NISSIN
ニッシン自動車工業 北海道
岩見沢市志文町九二三―二六
電話（〇一二六）二三―〇八〇五番

リフト付き車両での移送サービス&障害者ヘルパー派遣
介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは
HOP
ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北二十条東一丁目五―一大西ビル一階
TEL（〇一一）七四八―六二二〇
FAX（〇一一）七四八―六二二一

クリーニングは光生舎
光生舎クリーナース
光生舎ワークショップ
光生舎エルム・リーイング
光生舎ライト・プラザ
光生舎メディック・エル
光生舎クリーン・セブン
光生舎プラザ・イン・サッポロ
光生舎 虹の里
光生舎虹の里デイサービスセンター
光生舎 フーレビラ
ケアハウス すいこう
救護施設 親愛の家
○施設の利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。
連絡先　（社福）北海道光生舎
電話　0125－32－3221
担当　厚生部

リフト付貸切バス
ハートケア福祉タクシー（ストレッチャー対応）
株式会社 ライフパス
札幌市北区篠路一条八丁目六番三〇号 篠路自動車学校内
電話（〇一一）七七二―四七一五
FAX（〇一一）七七一―一四〇九

有限会社 岩見沢義肢
岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八
電話代表（〇一二六）二二―一五五〇番